熊本県立矢部高等学校

〒861-3515　上益城郡山都町城平 954 番地
tel：0967-72-0024　fax：0967-73-1030

くまもと『親の学び』プログラム

５月 23 日（月）に、熊本県教育庁教育総務局社会教育課の土井淳様、小園貴寛様に講師をしていただき、“３年後の進路選択”や“自立”をテーマに 50 分の講座が行われました。

先生方のお話を聞き、多くの生徒が、将来や自立について前向きの気持ちを持つことができていました。また、生徒同士のグループワークを随所に盛り込んであり、生徒間のコミュニケーションが深まりました。

西脇高校から山都町へ防災風呂敷

５月初旬、山都町と同じく、「全国へそのまち協議会」に加盟している兵庫県西脇市の西脇高校から、同校家庭クラブ員 80 人が製作した「防災風呂敷」が届けられました。山都町全体では 200 枚、本校にはそのうち約 50 枚が寄贈されました。「防災風呂敷」は約１ｍ四方の大きな布で、西脇市特産の播州織（ばんしゅうおり）が使用されていて、汚れが付きにくい撥水加工も施されているため、避難所での目隠しの他、テーブルクロス等に使ってもらえたら、とのこと。さらに、西脇高校家庭クラブの生徒たちから、「一日も早く元気になってほしい」と、風呂敷一つひとつに温かい励ましのメッセージが添えられていました。このメッセージは本校２階中央ホールにすべて展示してあります。

また、５月 14 日に開催した体育大会で、湯茶接待のテーブルクロスとしてこの風呂敷を使用しました。チェックやストライプ柄などの色とりどりの風呂敷は、ご来場いただいた多くの観客の目に触れ、体育大会に華を添えるとともに、遠く離れた地との絆を感じさせてくれました。

体育大会を終えて

生徒会副会長　石原君（普通科3年）

今年の体育大会は、熊本地震で延期になり５月１４日に行われました。私は、本当に間に合うのかなと思いましたが、みんなの頑張りで体育大会に間に合いよかったです。体育大会が終わったあと、保護者の方から「今日はよかった。楽しかった。」と声をかけていただいたとき、私はとてもうれしかったです。

私は、今年が最後の体育大会でしたが、今年できなかった種目を来年は、みんなで協力して、もっといい体育大会にしてほしいです。

町長室から　工藤　秀一

熊本地震から二ヶ月が過ぎ、ようやく落ち着いてきたと思った矢先、今度は、集中豪雨が本町を襲いました。

日本の歴史は、復興の歴史と言われ、繰り返す地震・風水害にも物事を投げ出さず、過去よりもすばらしい生活空間を築き上げてきました。・・・しかし、立て続けの大災害は、あまりにも過酷な試練です。

６月20日深夜から21日未明にかけての豪雨は、時間雨量１２６㎜を記録しています。緑川本流に架かるあの津留橋の欄干を濁流が越え、左岸の道路をえぐり取りました。いまだに忘れることができない昭和63年５月３日の大水害を河川流量としては上回っています。

本町南西部の被害が特に大きく、中でも県道横野矢部線、県道清和砥用線沿いの集落、緑川地区の被害は、甚大です。被災地では山崩れや路肩の崩落のため、道路は寸断され、多くの集落が孤立し、床上浸水、電柱が倒れることによる停電、水道施設への被害もみられました。現在調査中ではありますが、農地等の災害は、３，０００件、町道・河川等の公共土木施設災害５００件、被害額としても１００億円を超えるのではないかと思っています。

この水害に関して、最も危惧しているのが、被災農家の復旧意欲です。下矢部西部地区では、「二十数枚の田んぼを所有する中で、被災しなかった田んぼは、二枚だけだった」と力を落とされる農家がありました。今回の災害は、激甚災害に指定されることは間違いないと思いますが、農家にとって今年は、生産できない損失に加え、復旧工事に係る負担金を積み上げれば高額になることにより、復旧をあきらめ、これを機に離農する農家がでるのではないかと憂慮しています。

各地の被災状況を見ますと、震災による地割れやのり面が緩んでいる部分に大量の雨水が浸入し、崩壊した箇所が多く見られることから、私は震災関連の災害であると考えています。ですから今回の水害を震災対応と同じように被災者に極力負担をかけないように、国・県に申し入れをすると共に、町としても基幹産業である農林業を支えていくため、しっかりとした対応を行います。

今回の水害では、大雨が降り続く中、消防団員や警察・消防署の職員の方々、地域の代表の方々による住民の安否確認と共に被害の状況調査をいち早く行って頂きました。被災地では、行政の力に頼らず、住民の方々が協力しながら、県道・町道を問わず崩土を取り除かれた地域が多くあり、水道施設の復旧作業をされた地域もありました。住民の皆さんの連携、協力に、あらためて敬意を表し、感謝を申し上げます。

それぞれの被災地では、昭和63年の大水害を見事に乗り越えられた経験者が多数いらっしゃいます。その貴重な経験をもとに、仮応急工事を含め速やかに、そしてより堅固に復旧を進めていこうではありませんか。

YOU & YOU 通信 vol. 109

～結婚相談員を紹介します～

山下 哲矢　相談員（御所）
TEL：76-0530

こんにちは、結婚相談員の山下です。結婚して7年。38歳で結婚したので45歳になります。時の経つのは早く、「あっ」という間に50歳になるんだろうなと思う今日この頃です。

さて、ＹＯＵ＆ＹＯＵでは毎月楽しい出会いの催しが開かれ、毎年何組かのカップルが誕生しています。どんな出会いがあるかわかりません。「あっ」という間に時は過ぎていきます。ひとつの〝出会いの場〟ですので、友達を作る感じで気軽に参加されてみてはいかがでしょうか。

～28年度交流会が始動しました♪～

４月に発生した熊本地震、毎日の生活が一変された方々を思う日々でした。

どうすべきか悩みましたが、立ち止まってはいけない、前を向いて行こう！頑張ろう熊本！頑張ろう山都町！を胸に、６月５日に交流会を実施しました！６月は清和のさくらんぼ園でさくらんぼが収穫の時期を迎えます。赤く実ったさくらんぼ狩りを楽しんでもらうことで、地震の恐怖がひと時でも和らげばと、実施しました。たくさんのさくらんぼを収穫した顔は、終始笑顔でした。お昼は、青葉の瀬に場所を移動し、みんなでＢＢＱを楽しみました。心安らげるパートナーとの出会いに期待がたかまる交流会となりました。

・問い合わせ先

YOU&YOU 事務局（役場　山の都創造課）
山本・吉田
【専用電話】
090-9565-9589
【専用アドレス】
marriage.support@town.kumamoto-yamato.lg.jp
【専用アドレス携帯】
you_and_you.@docomo.ne.jp